

南ユイカリ便

平成29年冬発行
さくらホームクリニック
第19号

ビポクラテスの樹

今回は海外からの興味深いニュースをお伝えします。

『Amazon Go
アマゾン・ゴー』

アメリカIT大手のアマゾン・ドットコムが新しいアイデアを発表しました。AI（人工知能）を活用することでレジでの決済が不要になり、買い物のスピード化が図れる新しいコンビニ「アマゾン・ゴー」を本社のあるアメリカ西海岸のシアトルに1号店を開設しました。現在はテストトライアルとしてアマゾンの社員のみが利用できるそうで、その後、この無人店舗をアメリカ国内だけでな

く世界中に展開して行く予定です。

このアマゾン・ゴーでは、顧客が入店する際に自身のスマートフォンに前もってダウンロードしていたアプリを用います。そうすることで入店してきたのが一体どの誰かが分かります。つまり、自分の個人情報を持つスマートフォンが無くれば入店出来ないことになり、このシステムを活用することでコンビニ強盗の件数は理論上ほぼ無くなります。そして、入店した顧客が好きな商品を棚から取って自分の鞆や買い物袋に入れるのをカメラや棚に備え付けた重量センサーなどで認識

し、店から出る時にはAIが顧客が事前に決めていた支払方法（クレジットカードなど）で決済する仕組みです。店から出る時、顧客はスマートフォンで自分が購入した商品名や金額などが直ちに確認出来るようになっていきます。また、この方法では万引きが完全に予防出来ると期待されています。

日本ではこのAIを駆使したアマゾン・ゴーという新しいコンビニスタイルが大騒ぎで、このアマゾン方式が導入されると、セブンイレブンやローソンなどの既存のコンビニは全て無くなってしまいかもしれないという観測が広がってきています。確かにこのレジでの決済が不要の店は

多くの可能性を秘めています。人件費は当然大幅に削減出来るし、商品の補充や見切り販売時に威力を発揮します。また、アプリの使用で顧客の属性が分かり、店内のどこをどう歩いて興味を示した商品棚が何かなど店内での行動がすべて赤裸々になります。たとえば私が利用すれば、60歳のこの男性は、いつも何時ぐらいに来店し、どういうものを購入したのか、売り場のどこに滞在時間が長かったのか、何を買って何を買わなかったのか、つぶさに分かれます。こうした顧客データを集積すれば、どの商品をいつまでに仕入れておく必要がある、これは無くても大丈夫、新しいこの商品は売れるに違いない、などの予想が前もって立てることが可能になり売れる機会を可能な限り高める

同時に廃棄ロスを極限まで減らせます。

この世の中にスーパーマーケットが誕生してから、レジ方式は当然なものとして考えられてきました。最近、人手不足と経費削減のため、セルフレジなども導入されています。今後、流通業の生産性をさらに高めるためにアマゾン・ゴーが新しい決済手段になることは間違いないようです。私たちは来月渡米してシアトルを訪れる予定があるので、早速、アマゾン・ゴーに立ち寄って来ます。

『ヨガ + 動物』

健康の維持と精神の安定と癒しを求めてヨガは世界中で人気があります。最近、猫とくつろぐ「キャットヨガ」がアメリカで人気沸騰しています。アメリカの南部 ジョージア州のアトランタ郊外に、

捨てられたり保護されたりして里親探しの猫100匹以上が暮らす保護施設があります。

この施設では猫たちはケージに入れられず、広々とした部屋の中で自由にくつろいでいます。そして、ヨガのクラスがある時はこの部屋がスタジオに早変わりするので。

このキャットヨガを始めるきっかけは、施設の管理者がたまたまインターネットの動画サイトでキャットヨガを見てその導入を検討していた時、施設で働くボランティアスタッフの中にヨガのインストラクターの資格を持つ女性がいたとです。そこで、キャットヨガのクラスを開講し、参加者が支払う受講料をこの施設の運営費の一部にあてていくようです。

ヨガのクラスが始まり床にマットを広げる

と、猫たちが集まって来て、マットの上で思い思いの姿で寝そべったり、ヨガのポーズを取っている受講生の手足にすり寄ってきたり、受講生のカバンやジャケットの上で寝たりするそうです。長年ヨガを楽しんできた人たちも、猫たちと触れ合うことでこれまでのヨガのクラスよりもリラックスできると満足しています。このキャットヨガの様子が同じく動画サイトにアップされるとたちまち大評判になりました。猫たちとくつろいだ受講生たちが里親として自宅に連れて行き、そこでキャットヨガを続けてくればと施設のスタッフたちは期待しているようです。



CNN. co. jp

と一緒にヨガを楽しむゴートヨガが人気を集めています。この農場ではヤギの出入りは自由で、ヨガのポーズをする受講生に寄り添ったり、背中に乗ったりします。ヤギに背中に乗られた受講生だけでなく、その姿を側で見る受講生も心が豊かになるそうです。この農場のヤギたちは、うつ病などの精神障害を持つ人たちのためのアニマルセラピーとしても活躍しているそうです。

今や全米から癒しを求めて多くの人たちがこの農場にやってくるそうです。私たちの家には小型犬のシーズーが二匹います。リビングでヨガをやるうとするとき直ぐに側にやって来て、ヨガマットの上で勝手に寝転んだり、ヨガのポーズを取っていると足元にまとわりついてきます。これまでは邪魔だと思ひ追ひ払ってきましたが、今後はシーズーヨガを楽しむつ

75歳以上が高齢者?!

りです。さて、効果はいかほどでしょうか？
 今年1月5日に日本老年学会、日本老年医学会から、高齢者の定義を元来より10歳上げることが提言されました。これまでは「65歳以上が高齢者」でしたが、「75歳以上が高齢者」というふうになり、10歳引き上げるといいます。
 理由としては、近年の高齢者の心身の健康に関するデータから、身体的機能や社会活動の活発さからいって、高齢者が5年から10年若返っているからだそうです。アラカンの私からすれば、「若返る」と言われると悪い気はしません。「うんうん、そうだよね。まだまだ年寄り扱いされたくないよね。」という思いはあり、一般的に若返りの傾向があるのであれば嬉しく思う気持ちがあります。
 一方で、60代はがん年齢でもあり、10年前と変わらぬ元気で働いている人もいれば、がんや難病と闘いながら生きながらえている人もいて、健康の状態は個人差が大きく一概には言えない面があります。また、からだはやはり徐々に衰え弱っていくので、そこまで大病とはいかないまでも、風邪をひいたあとなかなか治りにくかったり、小さなけがのあとが長引いたりしてきます。

この冬はこれまで、契約患者さんの中でインフルエンザにかかった方が12、3人いましたが、そのうちの二人は重症化して入院になりました。また、高齢者の方が転倒すると、かなりの確率で大腿骨頸部骨折を来し、入院や手術が必要になります。脊椎圧迫骨折なども、特に転倒しなくても起こりやすくなります。さらに、足の先なので見過ごされがちですが、高齢者には白癬や巻き爪、外反母趾などが結構見られます。白癬が酷くなると蜂窩織炎を起したり、巻き爪や外反母趾で常に傷ができ痛くて歩きづらかったり、ADLが落ちてしまうこともあります。高齢者に特有な病気や状態を知って、あらかじめ予防したり、軽いうちに治療することも大切だと思います。近藤靖子